



..... 竹永議員12月定例市議会個人質問より

1) 民間丸投げ? カネボウ跡地

岡山市は11月にカネボウ跡地を、民間活用エリアと公共活用の2つのエリアにわけ、[民間]を先行整備する方針を示しました。竹永議員はそのことをうけ、「いままでの地域住民の声はどこまでいかされるのか? [公共]ゾーンには図書館や公民館など地域要望を実現するべきだ」と訴えました。答弁にたった西大寺支所長は「支所をはじめとした公共施設などの行政・サービス機能を集約したい」と答弁。また市長は「民間エリアの公募、審査はできるだけ情報公開し、時期がくれば市民の意見を聞くこともしたい」と答弁。民間エリア(上限4ha)は来年度中に事業者から娯楽商業施設で事業プロポーザル(提案)を募る予定です。

「新潟中越地震後、空地の確保をのぞむ住民

の声が増えている」との竹永議員の指摘に「公共用地は1haか2ha、公園は2haから3haを確保したい」との答弁がありました。

2) 児童虐待防止を中心にした子育て支援について

竹永議員は、保育士出身の議員として毎回、子どもの問題をこだわって議会でとりあげています。今回は児童福祉法の改正をうけて、児童相談所の機能の充実や、今現在ある施設や機関との連携を訴えました。今議会では法改正をうけ児童相談所の設置に向けての前向きな答弁もありました。また「虐待防止の早期発見のために公立保育園の保育士が地域にでて訪問相談業務をしては?」との竹永議員の指摘に検討したいとの前向き答弁がありました。

3) 児童の安全確保について

上道中学校区で朝の登校中に刃物を持った男が男子中学生を追いかけたという事件がありました。地域では協力してパトロールを警戒しています。

竹永議員は、中高生の3人の子どもをもつ母親として、PTAの役員をしながら地域の皆さんとともに、こどもにとって安心安全のまちづくりをめざして奮闘しています。今回あいつぎ、子どもが巻き込まれる事件が続いていることを指摘し、緊急警報機をすべての子どもに持たせるべきだと提案。

システムの開発を含めて研究してほしいと要望しました。また地域とのとりくみで、他都市の行っている、郵便配達車やごみ収集車などにも子どもパトロールを依頼している例をあげ要望しました。市当局は「いい取り組みなのでできるところから依頼し実現にむけて検討したい」との答弁がありました。

..... 地域の話

1) 大廻り・小廻り山城跡、文化財指定へ

11月に待望だった大廻り小廻り山城跡が文化庁の文化審議会をへて史跡認定されました。岡山市は来年度から、保存と活用に向けて史跡地内の公有化や城郭遺構を追及する発掘調査、史跡整備へと予算付けも含め順次取り組んでいく予定です。

2) 小鳥が丘団地における土壌等の汚染について

土壌から有害物質が検出され、団地の開発先であるリョービカンパニーが独自で調査等を行っています。また市としても調査や住民の相談にのっていますが充分ではありません。団地住民は【小鳥が丘環境対策委員会】をたちあげ、会社や行政に住民の要求を働きかけていくそうです。住民の皆様の不安をとりのぞくために私も会の皆さんと協力していきたいと考えています。